

# 平成23年度 事業報告

## ◎健診事業の概要

国の健康日本21、市町村の健康増進計画に基づき、県・市町村・関係団体などと連携を図りながら、「県民の検診機関」としてがん検診、特定健診事業などに積極的に取り組んだ。

また 特定健診・特定保健指導事業が平成20年度から始まり4年が経過した。この間、受診率の向上対策に市町村及び企業等の医療保険者と一体となって取り組んできたが、目標値の受診率40%には到達していないのが現状である。がん検診車のデジタル化を図るため平成22年度に胃・胸部併用デジタル検診車を整備し、更に既存の胃・胸部撮影装置のデジタル化を進め、精度の高いがん検診を実施するとともに、被爆線量の軽減を図り受診者に優しい検診に努めている。

平成23年度の住民検診実績は、前年度比で、がん検診、特定健診の受診者が減少した。これは上野原市の実施日数が減少したため、影響したものである。

一方 職域健診においては、民間企業等や笛吹市職員の受託や大学生のワクチン接種等の増加に伴い、受診者数・収入は昨年より増加した。

## I 住民健康診査

### 1 基本的な健康診査

#### 1-1 特定健康診査

平成20年度から、高齢者医療の確保に関する法律に基づき各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする、特定健康診査等を県下11市町村において受託し、平成23年度は、40歳から74歳を対象とした特定健診8,577人、75歳以上の後期高齢者の健診2,429人、39歳以下の若年者の健診913人合せて11,936人の一般住民の健診を実施した。

前年度の受診者数と比較して281人減少した。

受診者11,936人のメタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当1,066人(8.9%)、予備群該当1,507人(12.6%)、非該当8,531人(71.5%)、判定不能832人(7.0%)であった。

#### 【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

(単位：人)

	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
平成20年度	13	12,573	989	7.9%	1,689	13.4%	8,914	70.9%	981	7.8%
平成21年度	13	12,775	1,030	8.1%	1,733	13.6%	9,192	72.0%	820	6.4%
平成22年度	11	12,217	1,146	9.4%	1,548	12.7%	8,696	71.2%	827	6.8%
平成23年度	11	11,936	1,066	8.9%	1,507	12.6%	8,531	71.5%	832	7.0%
比較増減	0	-281	-80	—	-41	—	-165	—	5	—

#### 【特定健康診査等 ②階層化判定】

(単位：人)

	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能	
平成20年度	13	8,522	494	5.80%	1,423	16.7%	6,596	77.4%	9	0.1%
平成21年度	13	9,107	602	6.61%	1,629	17.9%	6,937	76.2%	16	0.2%
平成22年度	11	9,646	608	6.30%	1,597	16.6%	7,441	77.1%	9	0.1%
平成23年度	11	9,491	559	5.89%	1,548	16.3%	7,379	77.7%	5	0.1%
比較増減	0	-155	-49	—	-49	—	-62	—	-4	—

## 1-2 特定保健指導

平成23年度、特定健診を実施した11市町村のうち5市町から特定保健指導を受託して、積極的支援は31人、動機づけ支援16人であった。(平成23年度の特定保健指導は平成24年7月末まで継続中)

### 【特定保健指導実施状況】

市町村名	積極的支援				動機づけ支援			
	H20	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23
上野原市	/	2	7	6	/	6	20	5
都留市	18	12	6	7	/	/	/	/
富士川町	1	13	22	11	10	11	/	/
富士河口湖	/	/	/	2	/	/	/	11
南部町	/	4	3	5	/	/	/	/
合計	19	31	38	31	10	17	20	16

注) 人数は、初回面接終了者数を計上

### 【特定保健指導結果】

最終評価終了者のなかでメタボ脱出した者は、平成21年度 63人中13人(20.6%)、平成22年度 52人中12人(23.0%)と減少した。

#### 平成21年度(市町村合計)

	積極的支援			動機づけ支援			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	24	9	33	19	21	40	43	30	73
途中終了者	4	2	6	4	0	4	8	2	10
最終評価終了者	20	7	27	15	21	36	35	28	63
メタボ脱出者	5	1	6	1	6	7	6	7	13
内服開始者	0	0	0	1	2	3	1	2	3

#### 平成22年度(市町村合計)

	積極的支援			動機づけ支援			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	32	6	38	14	6	20	46	12	58
途中終了者	5	0	5	0	1	1	5	1	6
最終評価終了者	27	6	33	14	5	19	41	11	52
メタボ脱出者	4	3	7	5	0	5	9	3	12
内服開始者	2	0	2	0	1	1	2	1	3

※メタボ脱出者:最終評価時、腹囲・BMIともメタボリックシンドローム判定基準以下を達成した者

※内服開始者:最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の内服を開始した者



## II 各種がん検診

平成23年度 上野原市の住民検診が4日間となった影響があったものの、富士川町、富士河口町の受診者増で、減少はわずかであった。

### 1 胃がん検診

平成23年度は、県下16市町村の住民 1, 0246人、県職員及び事業所職員等4, 501人合せて14, 747人の検診を実施し、前年度と比較して672人減少した。

県医師会読影委員会による判定の結果、精密検査を要する者は 1, 717人 要精検率 11.64%で、追跡調査の結果、精密検査を受診した者は1, 194人、精検受診率69.5%であり、精密検査結果の内訳は、がん発見数9人(発見率0.061%)であった。

#### 【胃がん検診実施状況】

	市町村	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成19年度	18	20,644	2,330	11.29%	1,725	74.03%	13	0.06%	
平成20年度	18	16,561	2,301	13.89%	1,681	73.06%	18	0.11%	
平成21年度	16	16,502	2,005	12.15%	1,345	67.08%	12	0.07%	
平成22年度	16	15,419	1,596	10.35%	1,132	70.93%	10	0.06%	
平成23年度	16	14,747	1,717	11.64%	1,194	69.54%	9	0.06%	
内訳	市町村	16	10,246	1,215	11.86%	908	74.73%	9	0.09%
	職域等	—	4,501	502	11.15%	286	56.97%	0	0.00%
比較増減	0	-672	121	—	62	—	-1	—	

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃・十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
平成19年度	349	103	81	26	870	283
平成20年度	316	111	24	11	1,158	197
平成21年度	286	101	18	0	664	259
平成22年度	284	82	24	8	536	188
平成23年度	364	97	0	0	1,098	167
比較増減	80	15	-24	-8	562	-21

がんの内訳は、早期がん5件、進行がん2件、がん疑いが2件、また、その他疾患の主な内訳は、胃炎579件、逆流性食道炎126件であった。

## 2 肺がん検診

平成23年度は、県下11市町村の住民、県職員及び事業所職員等 合わせて21,585人の検診を実施し、前年度と比較すると584人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は459人、要精検率2.13%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は347人、精検受診率75.6%であり、精密検査内訳は、がん発見数は15人で、がん発見率は0.069%であった。また、喫煙者(喫煙指数600以上)等を対象とした喀痰細胞診は517人が受診し要精検者1名であったが、がん発見はされなかった。

### 【胸部検診実施状況】

	市町村数	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成19年度	14	48,153	1,116	2.32%	925	82.9%	18	0.04%	
平成20年度	13	44,714	1,080	2.42%	997	92.3%	22	0.05%	
平成21年度	12	20,732	642	3.10%	475	74.0%	9	0.04%	
平成22年度	11	22,169	571	2.58%	431	75.5%	7	0.03%	
平成23年度	11	21,585	459	2.13%	347	75.6%	15	0.07%	
内訳	市町村	11	17,905	413	2.31%	322	78.0%	15	0.08%
	職域等	—	3,680	46	1.25%	25	54.3%	0	0.00%
比較増減	0	-584	-112	—	-84	—	8	—	

### 【肺がん喀痰細胞診実施状況】

	市町村数	受診者数	異常認めず	追加検査	要精検者数	精検受診者数	がん発見数	がん発見率	
平成19年度	14	1,999	1,995	2	2	1	1	0.05%	
平成20年度	13	1,699	1,697	1	1	1	1	0.06%	
平成21年度	12	733	647	1	0	0	0	0.00%	
平成22年度	10	586	569	3	0	0	0	0.00%	
平成23年度	10	517	515	1	1	1	0	0.00%	
内訳	市町村	10	431	429	1	1	1	0	0.00%
	職域	—	86	86	0	0	0	0	
比較増減	0	-69	-54	-2	1	1	0	—	

### 3 大腸がん検診

平成23年度、県下11市町村住民及び事業所職員合せて12,525人の検診を実施し、また平成23年度より国のがん検診推進事業(無料クーポン配布)の効果もあり受診者数が前年度に比較して229人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は616人で要精検率4.92%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は298人、精検受診率は48.4%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数11人(発見率0.09%)であった。

#### 【大腸がん検診実施状況】

	市町村数	受診者数	要精検者数	精検	精検受診者数	精検受診	がん発見数	がん発見率	
平成19年度	11	10,837	599	5.53%	305	50.9%	7	0.06%	
平成20年度	13	11,084	609	5.49%	299	49.1%	13	0.12%	
平成21年度	13	12,745	688	5.40%	341	49.6%	11	0.09%	
平成22年度	11	12,296	608	4.94%	310	51.0%	8	0.07%	
平成23年度	11	12,525	616	4.92%	298	48.4%	11	0.09%	
内訳	市町村	11	9,984	488	4.89%	267	54.7%	11	0.11%
	職域等	—	2,541	128	5.04%	31	24.2%	0	0.00%
比較増減	-2	229	8	—	-12	—	3	—	

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他	異常認めず
平成19年度	105	50	26	13	104
平成20年度	112	63	0	31	80
平成21年度	156	34	0	27	113
平成22年度	122	36	0	39	105
平成23年度	127	53	2	38	97
比較増減	5	17	2	-1	-8



## 4 乳がん検診

平成23年度は、県下11市町村の住民6,576人、37事業所職員1,233人・冬季限定で実施した一般住民143人、街頭キャンペーンで受診された者61人、合わせて8,013人の検診を実施し、前年度に比較して584人増加した。

検診内訳は、(マンモグラフィ3,903人、視触診とマンモグラフィ併用2,142人、乳腺超音波検査1,021人、視触診と超音波検査併用843人、その他104人)の検診を実施した。受診者のうち、精密検査を要する者516人で要精検率6.44%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は414人、精検受診率は80.2%で、精密検査結果の内訳で、がん発見数12人(発見率0.15%)であった。

### 【乳がん検診実施状況】

	市町村数	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成19年度	10	5,668	188	3.32%	156	83.0%	7	0.12%	
平成20年度	12	6,946	248	3.57%	183	73.8%	6	0.09%	
平成21年度	12	8,772	480	5.47%	296	61.7%	10	0.11%	
平成22年度	12	7,429	419	5.64%	333	79.5%	10	0.13%	
平成23年度	11	8,013	516	6.44%	414	80.2%	12	0.15%	
内訳	市町村	11	6,780	443	6.53%	373	84.2%	11	0.16%
	職域等	—	1,233	73	5.92%	41	56.2%	1	0.08%
比較増減	0	584	97	—	81	—	2	—	

	乳腺症	線維腺腫	乳腺のう胞	その他	異常認めず
平成19年度	33	23	16	31	46
平成20年度	34	14	23	14	92
平成21年度	67	29	31	27	132
平成22年度	62	31	36	12	176
平成23年度	81	25	66	32	206
比較増減	19	-6	30	20	30

### 【平成23年度 実施方法別】

	市町村数	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	—	3,903	273	6.99%	228	83.52%	6	0.15%
視触診+マンモグラフィ	—	2,142	187	8.73%	150	80.21%	5	0.23%
乳腺超音波	—	1,021	20	1.96%	13	65.00%	0	0.00%
視触診+乳腺超音波	—	843	31	3.68%	23	74.19%	1	0.12%
その他組合せ	—	104	5	4.81%	0	0.00%	0	0.00%

## 5 子宮がん検診

子宮頸がん検診を事業団施設にて協会けんぽ対象事業所及びレディース健診で実施した。平成23年度は、受診者177人で、うち精密検査を要する者は0人であった。

### 【子宮頸がん検診実施状況】

	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率
平成20年度	270	0	0.00%	—	—
平成21年度	265	0	0.00%	—	—
平成22年度	236	1	0.42%	1	100.0%
平成23年度	177	0	0.00%	0	—
比較増減	-29	-1	—	-1	—

## 6 腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、平成23年度は、16市町村の住民、及び事業所職員等合せて19,626人の検診を実施し、前年度に比較して277人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は893人で要精検率4.55%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は557人、精検受診率は62.4%で、精密検査結果の内訳は、肝がん3人、胆のうがん1人、腎がん2人、膵臓がん2人その他3人合計でがん発見数は11人(発見率0.06%)であった。

悪性疾患以外にも、肝血管腫111人、脂肪肝32人、胆石症139人胆のうポリープ31人、膵のう胞35人など臓器別所見が発見された。

### 【腹部超音波検診実施状況】

	市町村	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	
平成19年度	18	23,729	678	2.86%	411	60.6%	
平成20年度	18	19,124	525	2.75%	308	58.7%	
平成21年度	18	21,441	666	3.11%	426	64.0%	
平成22年度	16	19,349	692	3.58%	437	63.2%	
平成23年度	16	19,626	893	4.55%	557	62.4%	
内訳	市町村	16	18,065	825	4.57%	534	64.7%
	職域等	—	1,561	68	4.36%	23	33.8%
比較増減	0	277	201	—	120	—	

### 【臓器別がん発見率】

	がん							臓器別疾患数						
	肝臓 (転移 性含)	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん 発見 率	肝臓 疾患	胆のう 疾患	腎臓 疾患	膵臓 疾患	脾臓 疾患	その他 所見	異常認めず
平成19年度	7	0	3	0	0	10	0.04%	134	111	53	35	4	26	48
平成20年度	3	1	1	2	4	11	0.06%	120	75	31	27	2	3	50
平成21年度	4	1	6	1	2	14	0.07%	91	135	61	60	3	25	37
平成22年度	7	0	1	0	0	8	0.04%	100	136	60	57	5	6	53
平成23年度	3	1	2	2	3	11	0.06%	215	259	115	76	5	49	58
比較増減	-4	1	1	2	3	3	—	115	123	55	19	0	43	5

(各臓器は重複所見)



## 7 前立腺がん検診（PSA検査）

平成23年度は、県下9市町村の住民及び、事業所等2,745人の検診を実施し、前年度に比較して243人増加した。受診者のうち精密検査を要する者は116人で要精検率4.23%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は58人、精検受診率は50.0%で、精密検査結果の内訳は、がん発見数は7人（発見率0.26%）であった。

### 【前立腺がん検診実施状況】

	市町村	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑い	
平成19年度	11	2,841	230	8.10%	122	53.0%	5	0.18%	55	
平成20年度	12	1,889	149	7.89%	93	62.4%	10	0.53%	35	
平成21年度	10	2,876	213	7.41%	84	39.4%	9	0.31%	41	
平成22年度	9	2,502	176	7.03%	102	58.0%	14	0.56%	41	
平成23年度	9	2,745	116	4.23%	58	50.0%	7	0.26%	16	
内訳	市町村	9	2,399	107	4.46%	55	51.4%	7	0.29%	15
	職域等	—	346	9	2.60%	3	33.3%	0	0.00%	1
比較増減	0	243	-60	—	-44	—	-7	—	-25	

	前立腺肥大	その他	異常認めず
平成19年度	35	8	19
平成20年度	28	5	15
平成21年度	18	5	11
平成22年度	26	3	18
平成23年度	22	6	17
比較増減	-4	3	-1

## 8 結核検診

平成23年度は、県下12市町村の住民及び県職、県教委、事業所職員等 合わせて45,963人の検診を実施し、前年度に比較して79人減少した。

受診者のうち精密検査を要する人は663人、要精検率1.44%であった。追跡調査の結果、精密検査を受けた者は450人、精検受診率67.9%であり、報告された感染患者は3人であった。

### 【結核検診実施状況】

	市町村	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者	精検受診率	発見患者数	患者発見率	異常認めず
平成19年度	15	69,745	472	0.68%	341	72.25%	1	0.001%	340
平成20年度	14	64,545	555	0.86%	359	64.68%	4	0.006%	355
平成21年度	13	40,826	836	2.05%	561	67.11%	0	0.000%	561
平成22年度	12	46,042	879	1.91%	578	65.76%	1	0.002%	245
平成23年度	12	45,963	663	1.44%	450	67.87%	3	0.007%	186
比較増減	0	-79	-216	—	-128	—	2	—	-59



### Ⅲ 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき 市町村職員、市町村教職員と県職員、県教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業等の受託を受けて実施した。

民間企業健診の新規受託数は、平成23年度主な企業として富士航空電子・高原会・テクニカルスクール等。中小企業48社を獲得し450人増加。笛吹市職員の受託により、受診者総数は前年度と比較すると831人増加した。

#### 【職域検診実施状況】

	市町村教職員	市町村職員	県教職員	県職員	大学・専門学校	民間企業等	合計
平成20年度	1,771	1,410	2,116	2,876	3,649	5,273	17,095
平成21年度	1,664	1,211	2,072	2,936	3,283	6,397	17,563
平成22年度	1,651	706	2,150	2,615	3,048	6,886	17,056
平成23年度	1,601	1,059	2,221	2,878	2,792	7,336	17,887
比較増減	-50	353	71	263	-256	450	831

### Ⅳ 学校保健安全法

#### 1 心臓検診

平成23年度は、県教委関係32校、市町村教委50校の生徒、学童11,750人の検診を実施し、大月市教育委員会の小中学校が新規獲得したため前年度に比較して381人増加した。

標準12誘導心電図検査の要精検者数は517人、精検率4.40%で、省略4誘導2点心電心音図検査の要精検者数は26人精検率5.13%であった。小中高とも不完全右脚ブロック・異常Q波・左室肥大の疑い所見が多く発見された。

#### 【心電図・心音図検査実施状況】

	心電図検査			心音図検査			前年度対比率
	受診者数	要精検者数	精検率	受診者数	要精検者数	精検率	
平成19年度	13,331	741	5.56%	592	29	4.90%	
平成20年度	11,607	558	4.81%	525	46	8.76%	87.1%
平成21年度	11,372	766	6.74%	501	36	7.19%	98.0%
平成22年度	11,369	642	5.65%	477	25	5.24%	100.0%
平成23年度	11,750	517	4.40%	507	26	5.13%	103.4%
比較増減	381	-125	—	30	1	—	—

## 2 寄生虫卵検査

平成23年度は、市町村教委の学童、保育園等の園児48,446人の検査を実施し、少子化等が影響して前年度に比較して4,769人減少した。

寄生虫卵検査の保卵者数は5人、保卵率0.014%であった。

### 【寄生虫卵検査実施状況】

	実施件数	保卵者	蟯虫	その他の寄生虫卵	保卵率
平成19年度	59,136	15	9	6	0.025%
平成20年度	57,072	7	7	0	0.012%
平成21年度	56,121	6	6	0	0.011%
平成22年度	53,215	2	2	0	0.004%
平成23年度	48,446	7	7	0	0.014%
比較増減	-4,769	5	5	0	—

## 3 尿検査

平成23年度は、県教委、市町村教委の学童、生徒及び保育園の園児等50,403人の検診を実施し、前年度に比較して2,438人減少した。

1次検査の陽性者1,069人(陽性率2.1%)うち、2次検査を実施した人数は900人陽性者173人(陽性率19.2%)であった。

### 【尿検査実施状況】

	第1次検査			第2次検査			第1次検査				第2次検査			
	受診者数	陽性者	陽性率	受診者数	陽性者	陽性率	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血
平成19年度	59,475	1,476	2.5%	1,214	339	27.9%	56	260	1,117	43	15	42	268	15
平成20年度	53,478	1,385	2.6%	875	300	34.3%	52	187	1,090	56	13	27	242	18
平成21年度	54,509	1,168	2.1%	971	247	25.4%	44	217	864	43	5	28	203	11
平成22年度	52,841	1,117	2.1%	951	189	19.9%	45	235	799	38	12	22	146	9
平成23年度	50,403	1,069	2.1%	900	173	19.2%	58	160	820	31	15	14	139	5
比較増減	-2,438	-48	—	-51	-16	—	13	-75	21	-7	3	-8	-7	-4

## 4 血液貧血検査

平成23年度は市町村教委の学童、生徒等の1,506人の検査を実施し、前年度に比較して76人増加した。

軽度異常者は74人(異常率4.91%)要精検者8人(精検率0.53%)であった。

### 【貧血検査実施状況】

	受診者数	軽度異常者数	軽度異常率	要精検者数	精検率
平成19年度	1,841	45	2.44%	9	0.49%
平成20年度	1,522	40	2.63%	6	0.39%
平成21年度	1,497	71	4.74%	7	0.47%
平成22年度	1,430	82	5.73%	6	0.42%
平成23年度	1,506	74	4.91%	8	0.53%
比較増減	76	-8	—	2	—



## V がん対策事業

山梨県において昭和58年からがんは死亡原因の第1位であり、全死亡者の3分の1を占めている。また、国の推計によると、男性の2人に1人、女性の3人に1人が将来がんにかかるとされている。県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、「がん」の総合的な対策を推進している。

健康管理事業団は、日本対がん協会山梨県支部を兼ねており、9月のがん征圧月間中に普及啓発などを展開した。また、講演会の開催や医師、保健師による「がん相談」を実施し、がん患者やその家族の不安や悩みの解消に努めた。

### 1 医師によるがん相談事業

「県民の日記念行事」（11月19・20日）において医師によるがん相談を実施し、14名の相談者があった。

### 2 保健師によるがん電話相談事業

毎週火曜日に事業団において、保健師による電話相談を行った。

### 3 講演会の開催

「身近なところにある疾患予防」をテーマに、講師として山梨大学医学部特任准教授鈴木孝太先生を招き、がん検診を推進している県や市町村、関係団体などの関係者や一般県民が集まり、講演会を開催した。

2月24日・山梨県男女共同参画センター（ぴゅあ総合）

出席者 100名

### 4 受診率向上のための普及啓発活動

- ・がん征圧月間街頭キャンペーン

9月10日 オギノ昭和店 参加者24名

(事業団・県・ホスピス協会・県細胞検査士会)

- ・いきいき山梨ねんりんピック

9月25日 小瀬スポーツ公園 参加者4名

(事業団)

- ・県民の日記念行事

11月19・20日 小瀬スポーツ公園 参加者35名

(事業団・県)

○乳がん検診 受診者15名

○医師によるがん・健康相談 相談者14名

- ・「乳がんを早期発見するためには」キャンペーン

10月22日 イオンモール 参加者2名

(事業団)

- ・「子宮がん検診に行こう」キャンペーン

3月4日 イオンモール 参加者2名

(事業団)

## VI 普及啓発活動

### 1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる、9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発ラジオCM放送と新聞広告の掲載をするとともに、9月10日のがん征圧街頭キャンペーンとして、昭和町のオギノショッピングモールを会場にリーフレット、花の種等の配布や乳がん検診を行った。また、県下全市町村、医療機関、事業所等のがん予防知識啓発用ポスター及びリーフレットを配布した。

### 2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間（9月24日～30日）中に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月26日に、JR甲府駅構内において、県、県愛育連合会、県連合婦人会等、関係機関の協力のもと、結核予防普及啓発資料の配布などによる結核予防街頭キャンペーンを実施した。

### 3 講演会の開催（再掲）

「身近なところにある疾患予防」をテーマに、講師として山梨大学医学部特任准教授鈴木孝太先生を招き、がん検診を推進している県や市町村、関係団体などの関係者や一般県民が集まり、病気を予防するための食生活、運動、健診などから日常的に取り組める方法などについて講演会を行った。

2月24日・山梨県男女共同参画センター（ぴゅあ総合）

出席者 100名

### 4 各種イベントへの参加

県及び関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、検診車の展示、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを次のとおり実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

(1) 平成23年9月25日（土）

- 県主催「いきいき山梨ねりんピック」 於 小瀬スポーツ公園
  - ・結核、乳がん予防、事業団パンフレット等配布
  - ・健康教育パネルの展示

(2) 平成23年11月19・20日（土・日）

- 県主催「第26回県民の日記念行事」 於 小瀬スポーツ公園
  - ・医師による「がん相談」「健康相談」の実施 相談者14名
  - ・乳がん検診の実施（マンモグラフィ検査・乳腺超音波検査）受診者15名
  - ・骨粗しょう症検査 受診者80名
  - ・血圧、活力年齢測定
  - ・結核、乳がん予防、事業団パンフレット等配布
  - ・健康教育パネルの展示



- (3) 平成24年10月22日(土)
  - 山梨県臨床検査技師会主催「乳がんを早期発見するためには」キャンペーン  
・乳がん予防、乳がん検診啓発冊子 於 イオンモール  
・乳がん自己視触診法パンフレット 等配布
- (4) 平成24年3月4日(日)
  - 山梨大学医学部主催「子宮がん検診に行こう」キャンペーン 於 イオンモール  
・子宮頸がん予防、子宮頸がん検診啓発冊子等配布
- (5) 平成24年3月4日(日)
  - 山梨県中小企業中央会主催「介護フェア」 於 アイメッセ山梨  
・血圧脈波測定検査  
・保健師による生活習慣病指導

## 5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

## 6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として、市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

## 7 その他広報資料の配付

事業団広報誌「健康管理事業団だより」を年4回発行している。また、結核予防会発行の「複十字」、日本対がん協会発行の「対がん協会報」、予防医学事業中央会発行の「家族と健康」等を広報資料として市町村及び各関係機関等へ配付し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

## Ⅶ 研修事業

1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

	名 称	開 催 月 日	参 加 人 員
結核 予 防 会	第10回関東甲信越地区結核予防婦人団体幹部研修会 (山梨県開催)	10月7日	4人
	平成23年度関東甲信越支部ブロック会議	12月2日	2人
	第2回乳房超音波講習会	2月17日～19日	2人
	平成23年度結核予防会事業協議会総会	2月24日	1人
	第15回結核予防関係婦人団体中央講習	2月28日～29日	2人
日 本 対 が ん 協 会	全国事務局長会議	6月4日	1人
	がん征圧全国大会	8月31日～9月2日	1人
	平成23年度関東甲信越支部連絡協議会 (山梨県開催)	11月11日	13人
	第35回保健師・看護師研修会	3月1日	3人
予 防 医 学 中 央 会	公益認定移行申請事務講演会・意見交換会	7月22日	2人
	第29回全国情報統計研修会	8月25日～26日	2人
	平成23年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議	10月6日～7日	4人
	平成23年度全国運営会議	10月27日	1人
	第56回予防医学事業推進全国大会	10月28日	1人
	第46回予防医学技術研究会議	2月15日～16日	2人

2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等へ職員を参加させた。

	名 称	開 催 月 日	参 加 人 員
	(総務部)		
	平成24年度 資金収支予算編成の実務特別講習会	11月2日	1人
	公益法人の実践簿記会計集中講座	12月8日	1人
	(財)静岡県予防医学協会 視察訪問	2月3日	8人
	公益法人資金収支ベース決算実務特別講習会	3月6日	1人
	(業務部・情報管理室)		
	健診ソリューションセミナー2011	11月18日～19日	2人
	(健診部・検査課)		
	日本医学検査学会ランチョンセミナー	6月4日	1人
	第50回日本臨床細胞学会秋期大会	10月22日～23日	2人

3 県内の8つの検診機関等で構成する山梨県検診実施機関連絡協議会が2月24日に開催され、事業団もこれに参画し、精度管理の向上の諸課題に取り組んだ。



## **VIII 会議の開催**

### **1 理事会**

- (1) 平成23年6月30日 於 山梨県医師会館6F講堂  
役員の選任、平成22年度事業報告、一般会計及び救急医療情報システム特別会計決算報告、平成23年度一般会計補正予算(案)等について審議が行われ、可決承認された。
- (2) 平成24年3月21日 於 山梨県医師会館6F会議室  
平成24年度事業計画(案)、主要事業・課題について、平成24年度一般会計及び救急医療情報システム特別会計収支予算(案)、寄付行為の改正並びに規程の改正について審議が行われ、可決承認された。

### **2 経営評価委員会**

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として税理士等3名を構成メンバーとした、経営評価委員会を平成24年2月8日開催し、事業団の経営状況、事業団の事務、事業の見直し等について、委員の方々から意見をいただいた。

## IX 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、適切な医療情報の提供に努めている。平成23年度の救急案内件数は18,917件で、前年度と比較すると新型インフルエンザの予防の改善があり、451件の減少となった。

現在、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供を行う業務を実施している。

### 1 業務内容

- (1) 情報の収集業務（医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集）
- (2) 情報の登録業務（医療機関や当番医の登録、更新）
- (3) 情報の提供業務（患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供）
- (4) 各種統計の作成業務

### 2 年度別案内件数 (件)

年度	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358	7,585	7,133	8,186
年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数	9,465	11,292	12,940	12,267	12,900	13,844	14,905	15,384	15,109	16,145
年度	H21	H22	H23	合計						
件数	21,254	19,368	18,917	249,680						

### 3 案内状況 (件)

種 別		平成22年度	平成23年度
救急医療情報センター案内件数		19,368	18,917
受付時間別案内件数	深夜（0時～8時）	2,332	2,355
	日中（9時～17時）	8,751	8,566
	準夜（18時～24時）	8,285	7,996
診療科目別案内件数	内 科	5,701	5,842
	小 児 科	3,145	3,017
	整形外科	2,481	2,414
	外 科	1,755	1,927
	眼 科	1,215	1,171
	耳鼻咽喉科	1,203	1,193
	歯 科	992	942
	脳神経外科	649	655
	皮 膚 科	501	441
	産 婦 人 科	236	194
	泌 尿 器 科	190	235
	精神神経科	79	75
	そ の 他	1,221	811
計	19,368	18,917	